

じゃっとじゃっと

苓北支援学校 人権教育ニュース

令和3年12月発行(年1回)

令和3年度、本校の人権教育の目標は、「本校の目指す児童生徒像「つよく・あかるく・なかよく」を基本に、自他共に大切に思う心や個々に応じたコミュニケーション能力を発揮し、人と共によりよく生きるために必要な力を育む」です。本年度の人権教育の取組をご紹介します。



第1回なかよし集会「友達と仲良くなろう」

5月10日(月)、“友達のことを大切にしようとする意識を持つこと”をねらいとして、友達と輪になって自己紹介を行いました。「○○さん」と名前を呼んでもらうと、呼ばれた児童生徒が一人ずつ自分の好きなことや得意なことを、実物を見せるなどして紹介しました。友達に名前を呼ばれたり好きなことを聞いてもらったりすることで、嬉しそうに笑顔になる児童生徒も見られました。訪問教育の児童も、映像を通して自宅の学習の様子を紹介することができました。



第2回なかよし集会「共同作品『みんなの木』を友達と協力して描こう」

10月11日(月)は、“友達と協力すること”をねらいとして共同制作に取り組みました。作品の名前は「みんなの木」です。一人一人の児童生徒が、自分で選んだ葉のパーツに絵の具を塗ったり紙を貼ったりと得意な方法で色をつけ、それを一つの台紙に貼り付けました。「みんなの木」のいろいろな色や形の葉を見ることを通して、一人一人の個性を感じたり、みんなで協力することの素晴らしさを感じたりすることができました。訪問教育の児童生徒も、映像を通して完成した「みんなの木」を見て友達のことを意識することができました。



12月は「友達と協力しよう」というテーマで、学部毎に人権についての学習を行いました。

【小学部の取組】特別活動 なかよしタイム 「なかよしポイントゲットゲーム」

12月3日(金)に、友達と一緒にボールをかごまで運び、ポイントをゲットするゲームを行いました。応用紙の両端を持ち、ボールが落ちないようにバランスをとり、それぞれの得意な動きを生かして、友達を意識しながら協力してボールを運ぶことができました。ゲットしたポイントによって、先生からくすぐられるのを楽しんだり、一緒に音楽を聞いたりして、関わり合うことができました。



【中学部の取組】特別活動 人権学習 「みんなの心をつなごう」

12月10日(金)に人権についての話を聞き、人権は「私たちが幸せに生きる権利」であると知ることができました。

次に、大きな風船を使って友達と協力してパスをつないだり、大きな布をみんなで動かして風船を浮かせたりしました。みんなで関わって楽しく賑やかに活動することで、友達と心もつながったような気持ちになりました。



【高等部の取組】LHR 人権学習 「風船送りゲーム」

12月6日(月)に、高等部全員で細長い大きな布を持ち、一緒に動かし、スタートからゴールまで大きなボールや風船を動かす活動をしました。友達の様子を見ながら協力して布を動かすと、うまくゴールまで運ぶことができました。

また1週間を通して、友達のことを大切にできるよう、あいさつ運動を行いました。友達とあいさつをかわして笑顔になる様子が見られました。

